

## 2023年度モデル大学の事例紹介

2023年度は、合計30大学・競技団体に受講していただきました。  
DCセミナーでは、運動部の学生と文化部の学生と一緒に参加している大学もあります。

### 「組織マネジメント研修」を実施

#### **東北大学**（学友会所属運動部12団体）

今年度、東北大学で組織マネジメント研修を開催しました。今回は各部の主将・主務と各部の1年生が参加し、部の運営やマネジメントに関する研修を受け、グループワークを通じて運動部間の交流が行われました。

研修では部の目的、目標は何か、「部の中でうまく活用できていない資源は何か」、「部の強みとは何か」、「強みを伸ばす為に有効な手法は何か」、など、普段腰を据えて考えることの少ないテーマに向き合い、部内のチームビルディングはもちろん社会にでてからも役立つような内容をベースに、マネジメントの基礎を学びました。

#### 【参加した学生の声】

- ・一年生なので、マネジメントについて学習することで、今後年次が上がった際に参考になると感じました。
- ・最近、主務としての仕事を改善しなくてはと思っていたが、実行にまで移せていませんでした。今回の話を聞き、計画を立てるところまではできたので、実行したいと思います。
- ・マネジメントを学術的に考える機会が今まであまりなかったので、とても面白かったです。就職したら、人を引っ張るといふ部分で自分の介在価値を発揮できたらと思っていますので、本日も講演いただいたことを仕事にも落とし込めたいなと思いました。



受講風景



ディスカッションの様子

## 「DC ONLINE for TEAM」を実施

### 福岡大学（サッカー部）

福岡大学サッカー部の部員は、大学生活の多くの時間を部活に費やします。多くの時間を費やす部活動を通じて、競技力の向上だけでなく、社会に出てからも活かせる様々な能力を体系的に学ぶことで「サッカー選手としてだけでなく、卒業後も社会で活躍できる人材になってほしい」という想いで導入を決定しました。

本プログラムは、アクティブラーニングを取り入れた研修となっているため、講師の話聞いて終わりではなく、自分で考え思考を巡らせたり、仲間とディスカッションを行って考えを深めていったりなど、受講者が主体的に学びを深められるのが特徴です。

インプット、アウトプットを織り交ぜながら各回、下記の様な順で学びを進めていきました。

1. 今回のテーマ「計画力」とは何か
2. 計画力が持つ価値
3. 計画力を高めるポイント
4. 個人ワーク
5. 研修のまとめ



## 「DC ONLINE for TEAM」と「組織マネジメント研修」を実施

### 城西大学（陸上競技部）

#### 【組織マネジメント研修】

組織マネジメント研修ではマネジメントの創始者と呼ばれるピーター・F・ドラッカーの著書「マネジメント」の内容をベースに、運動部の通常に置き換えて分かりやすくマネジメントの基礎を学びました。

参加した学生は「陸上や水泳は個人競技のイメージが強く、組織マネジメントとはあまり関係がないかと思っていたが、メンタルトレーニングなど、セルフマネジメントの重要性を再認識しました。昇格した1部でも結果を残せるよう頑張りたい。」と活躍を誓いました。

#### 【DC ONLINE for TEAM】

冒頭から積極的に参加していただき、ディスカッションも活発に行われていました。5月の組織マネジメント研修を受講している学生もおり、その際に学んだヒト・モノ・カネ・情報を上手く取り入れながら個人ワークに取り組んでいた学生がいたのが印象的でした。「計画力を高めるための行動」を考えるディスカッションでは、学生の知識やノウハウを共有しながら具体例を考えることができていました。

#### 参加した学生の声

- ・計画力はもちろん大事だが、自分の身の丈に合った目標を立てる事が大切であり、小さな目標を積み重ねていきやがて自分の目標になるという事が分かった。
- ・自分の思っていた以上のことに気づくことができ、考えていたことの甘さなどが分かった。考えを改め直して今後の競技生活に活かしていきたい。
- ・今までは最終的な大きな目標しか掲げていなかったが、「小さな目標を成功させること」を重ねることでいずれ大きな目標を達成することにつながると学んだ。

